

## UNHCR セルジオ・V・デ・メロ氏資料 整理と研究



～国際機関アーカイブ整理プロジェクト報告会～

海外アーカイブ・ボランティアの会  
会長 小川千代子

秋たけなわの候、皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。  
さて、海外アーカイブボランティアの会は2015年に引き続き、2016年度もまた株式会社カネカの支援を得て、UNHCR Fond15/1 セルジオ・ヴィエラ・デ・メロ氏資料（次頁に参考情報、写真はWikipedia）の整理と研究の作業を進め、完了しました。つきましては下記により成果報告会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

### 記

日時 2016年11月21日（月）  
時間 14:00～16:00  
場所 ㈱カネカ 東京本社 会議室 〒107-6028 東京都港区赤坂1-12-32(アーク森ビル)  
<http://www.kaneka.co.jp/corporate/map/tokyo.html>

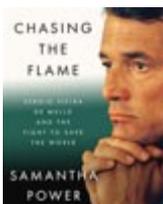
### プログラム

1. 大西 愛（大阪大学出版会）：本プロジェクトの経過と概要
  2. 小川千代子（国際資料研究所）：国際機関におけるアーカイブの現状（国連、UNHCR、WHO等を事例として）
  3. 金山正子（元興寺文化財研究所）：UNHCR Fond15/1 資料整理作業の実際
  4. 松村光希子（学習院大学大学院）：国際機関と日本の個人文書を比較する
  5. 質疑応答
- 司会・進行 元 ナミ（京都大学大学図書館）

★ご参加申込、お問い合わせはメールで。✉ [kaigaiarchiv@gmail.com](mailto:kaigaiarchiv@gmail.com)  
★準備の都合上、ご参加は先着40名様、11月15日締切とさせていただきます。  
★お申込みは上記メールアドレス宛、メール件名欄に「11月21日報告会参加希望」とご記入の上、文面にはお名前、ご所属をお書きください。  
☆お申し込み時に頂いた情報は、本報告会の運営のためだけに用います。 以上

## 【参考】セルジオ・ビエイラ・デメロ

セルジオ・ビエイラ・デメロは国連事務総長特別代表。2003年8月19日、バグダッドの国連現地本部を狙った爆弾テロ事件で死亡した。<http://democracynow.jp/dailynews/08/02/22/4> (2016-09-19)



米国の作家、サマンサ・パワーが新作 Chasing the Flame: Sergio Vieira de Mello and the Fight to Save the World (炎を追って; セルジオ・ヴィエイラ・デ・メロと世界を救う戦い) を語る

セルジオ・ヴィエイラ・デ・メロはイラクの国連特別代表でした。2003年8月、彼は国連バグダッド本部で起こったトラック爆弾事件で死亡しました。他に21人が死亡し数十人が負傷したこの襲撃事件は国連58年の歴史の中でも最悪のもの1つです。デ・メロは1969年から国連で働き、東ティモールやユーゴスラビア、カンボジア、バングラデシュなどといった世界で最も困難な地域で活動していました。

デメロ氏 さようなら 2003-08-28 15:52

バグダッドの国連事務所爆破テロで死亡したセルジオ・ビエイラ・デメロ国連事務総長特別代表(イラク担当/国連人権高等弁務官兼任)の告別式がキャリアの大半を過ごしたスイス、ジュネーブで28日、行われた。家族や友人との教会の告別式がサン・ポール教会で午後2時から行われた後、ジュネーブの「パンテオン」と言われる著名人用の「王様墓地」に埋葬された。



告別式後、デメロ氏のボディーガードが棺を運び出した。

### 告別式

ブラジル出身のデメロ氏の遺体は国葬が行われたブラジルのリオデジャネイロ市から同氏の家族の住むジュネーブへ移送された。親族や友人に囲まれた教会での告別式のほか、28日夜には国連人権高等弁務官(OHCHR)と国連難民高等弁務官(UHCR)合同で追悼式が行われ、世界各国からの出席者を迎える予定だ。ブラジルでは親しかったアナン事務総長が哀悼の辞を述べた。

また、デメロ氏を含め、テロで命を失った国連職員の死を悼んで26日、国連職員ら約2500人が欧州国連本部でサイレント・マーチを行った。29日には、被害者を哀悼する式典がジュネーブ欧州国連本部で行われる。

### バグダッド国連テロ

自爆テロは19日、バグダッド中心部、国連の駐イラク事務所になっていた「カナルホテル」が狙的になり、デメロ氏も含め24名が死亡、100人以上の負傷者を出した。各紙報道ではデメロ氏は爆発時に3階執務室にいて崩れた瓦礫の下敷きになったという。当初、意識はあったが足を鉄材に挟まれて動けず、外部の職員らが携帯電話で励ましながら救出を試みたが、「水、水を」という言葉を最後に息絶えた。

### デメロ氏の経歴

「セルジオ」と人々から親しまれて呼ばれていたデメロ氏は48年リオデジャネイロ生まれのブラジル人。パリ、ソルボンヌ大学で哲学を専攻した後、ジュネーブに本部を置く、国連難民高等弁務官に入所。その後、国連コソボ暫定行政支援団(UNMIK)の臨時特別代表や国連東チモール暫定行政機構(UNTAET)の事務総長特別代表を勤め、2002年9月に国連人権高等弁務官に就任した。外交術に長けていると賛美されていたデメロ氏は次期国連事務総長に選ばれるとみられていた。弁務官は今年、4月にジュネーブを訪れた拉致被害者家族と会見し、その際同氏は「もし、私の息子がそのような目にあったらどうするのだろう」と絶句して、家族会の人達を感動させた。

今年5月からアナン事務総長の依頼でイラク問題担当事務総長特別代表を兼任したが任務は後1週間で終る予定だった。

「王様墓地」は12世紀にペスト患者を埋葬するために作られたが、地元の名士か外国の著名人しか入れない。外国人では宗教改革で有名な仏神学者カルバンや英国作家ジェームス・ジョイス、ドイツの詩人リルケやアルゼンチン作家ボルヘスなどのお墓がある。

出典: SWI 2003-08-28 15:52 デメロ氏 さようなら (2015. 8. 9確認)

<http://www.swissinfo.ch/jpn/%E3%83%87%E3%83%A1%E3%83%AD%E6%B0%8F-%E3%81%95%E3%82%88%E3%81%86%E3%81%AA%E3%82%89/3480440>